

人 ② 寿学級長を務めて四年目に

田^{たな}辺^べ 正^{しょう}二^じさん
板^{いた}井^い二^に・七^{しち}十^{じゅう}六^{ろく}歳

これから二十一世紀に向けて、日本は人類史上にも類を見ない高齢社会を迎えようとしている、と言われている。昭和六十一年の国勢調査で、六十五歳以上のいわゆるお年寄りの占める割合は約六%。

「高齢化」の問題は、健康はもちろん、生きがいや家族関係にも大きなかわりがある。

町では、それを先取りする形で二十年ほど前から、六十五歳以上のお年寄りを対象に「寿学級」を開いている。「寿学級」の目的は、学習活動を通じて融和と親睦を図ることである。今年度も四月三日に開講式が開かれ、新しいスタートを切った。

現在、その学級長をしているのが田辺さんだ。今年で四年目になる。

「頭を使うことが老人には必要だ。そうでないとどうしてもボケるからね、寿学級では頭を使うように、ということで運営などを考えてきた」と田辺さん。そして寿学級の大事な点は仲間づくりだという。「生きがいという点でも、年寄りには孤立してはダメ。できるだけいろんなところに顔を出して、大勢の人とつきあうことだね。そうすれば頭も使うことにな



田辺さん(自宅で)。5年ほど前からランの栽培を始めた。「盆栽や菊と同じく、自然を楽しんでいます」

るし、ひいては健康のためにもなるし」。そういう田辺さん自身は、俳句、菊、盆栽などのグループに参加して活動しているという。田辺さん自身の将来については「理想としては九十くらいまでは

どんだん動き回る。その後は老衰で楽に死ぬことが一番だと思ってる。そのためにもボケないで健康でいることが大切だね」。目も歯もまだ大丈夫だそうだが、その秘訣は若いころからの食生活だと

か。「健康な年寄りになろうと思うなら、若いうちから気をつけなくては」。

高齢化社会ということについては「それ自体が悪いというわけではない。年寄りが人の迷惑にならないければ、かえってめでたいことじゃないかな」。そして「人に迷惑をかけなければ、それで一人前だと思っている」と付け加えた。

最後に「未来の老人たち」つまり、今の若い人たちのために一言、と聞いてみた。「車社会になって足を使って歩くことが少ないようだ。健康は足から。年をとってから健康を保とうと思うなら、もっと足を使って歩かなければ」。それに続けて「若い人が年寄りに対してどんな要望を持っているか、知りたいと思うんだが……。寿学級でそうした機会を設けるのは難しいかな」。

ほんの一冊

「豊かな社会」の貧しさ

宇沢弘文・著
岩波書店
土地・住宅、教育、健康と医療……。豊

かになったといわれる現在も、これらに対する不平不満を持たない人は少ないのではないのでしょうか。また、地球の自然環境に関心のある人なら、今とても危機的な状況にあると感じているのでは。

この本では、「豊かな社会」といわれる日本の社会にまだ残っている問題点を指摘するだけでなく、適切な処方せんを書こうとする試みでもあります。

特に、人間らしい生活と自動車(とそれを中心に動いている社会)が対立するという見方は、逆転の発想とでもいうのでしょうか、とても新鮮で刺激的です。

現代社会はなにかおかし、と感じている人は一読されることをお勧めします。(この本は町図書館にあります)

〈人の動き〉

3月末日現在 (前月比)	前年 [同月比]
人 口 23,318 (-41)	[+215]
男 11,442 (-22)	[+113]
女 11,876 (-19)	[+102]
世帯 6,222 (-2)	[+106]
3月1日～末日	
出生 20	転入 185
婚姻 15	転出 231
死亡 15	



募集します

- ◆カットやイラストの描ける人
 - ◆四コママンガの描ける人
 - ◆インタビュアーやレポーターをしたい人
 - ◆本を紹介してくれる人
 - ◆編集に興味を持っている人
- どうぞお気軽にお申し出ください。また、お知り合いのかたを紹介ください。上手下手は問いません。申し込まれた方には順次依頼させていただきます。また、薄謝ですがお礼いたします。また、楽しい話題やがんばっている人もご紹介ください。
- ▼連絡先・役場企画開発課広報係
☎377-13101 (内線46)



この広報が皆さんのもとに届くのは、連休の最中か終わったところでしょう。しかし、これを書いているのは一週間前。ゴールデンウィークが恨めしい。▼などと書く、働き中、毒め、とか、やーいひとりもの、などという声があふれてくる。▼連休は、ただあんまり忙しくて、心を落ち着かせるだけの余裕がないだけです。▼連休は、いろいろ計画を立てて、いろんなところへ行って、いろんなことをやるいい機会だと思えます。しかし、何もせずにポーンとして過ごせたらそれはそれで素晴らしいこと。ある人いわく「文化とは、何もなし部屋で、一人静かに椅子に腰かけていられたことだ」。▼国民の休日にはそれなりの理由があるわけで、それを考えてみることも必要では。5月3日の憲法記念日には、憲法を引っ張り出してきて読むとかしてみてはいかがでしょう？